



白山小学校学校運営協議会 はくざんコミュニティ・スクールだより



令和6年2月26日発行 第9号



ありがとう集会



白山小学校では、お世話になっているサポーターの方々をお招きして感謝の気持ちを伝えるありがとう集会を例年行っています。今年は、4年ぶりに体育館で行うことができ、80名のサポーターの方々に参加しました。スライドでは、サポーターの皆さんと活動した1年間の楽しい思い出を振り返りました。子どもたちは、サポーターさんたちへの感謝の気持ちを改めて確認し、お世話になった方々に、お礼の言葉を伝えて、プレゼントを贈呈しました。最後に歌のプレゼント「ふるさとのいろ」を心を込めて歌いました。サポーターさんの代表の方々からは、これからも子どもたちのためにサポートしていきたいと心強いお言葉をいただきました。



お世話になった地域の方々は25人以上いることを知りました。いろいろな人のおかげで学校生活を楽しく過ごせていることに気づきました。歌に合わせて楽しそうに体をゆらしてくれた人、コメントをくれた人、そういう人達を見てみると、私達の「ありがとう」の気持ちが出来たのかなあと思いました。コミュニティスクールの取り組みがこれからもずっと続くといいなあと思いました。

ありがとうの思い出の写真がうつし出された時は、どんなことでも世話になったかをよく思い出しました。いろんな委員会が協力してつめ合わせをしたお礼の品物をわたした時に、サポーターのみなさんが笑顔になっていたのを見たら、がんばってよかったなと思いました。小学校最後のありがとう集会で、ありがとうが伝えられてよかったです。



ニュースポーツに挑戦!



3年生は、三木町スポーツ推進委員の皆さんの指導のもと、ニュースポーツの「卓球バレー」、パラスポーツの「ボッチャ」を体験しました。卓球バレーは、障害に関係なく椅子や車椅子に座ってできるスポーツです。最初はルールに戸惑っていた子どもたちも慣れてくると、スピードも速くなり大いに盛り上がりました。また、東京パラリンピックで競技されたボッチャにも挑戦しました。白山小学校には、ベルマークで購入したボッチャの用具もあり、体験した子どもたちもいました。子どもたちは、誰もが楽しめるよう工夫されたスポーツを体験し、それぞれのスポーツの魅力に気付きました。



わくわく学習部会

サポーターさんとともに豊かな学びを!



白山小学校では、各教科やはくざんっ子学習で多くのサポーターさんが参加してくれています。今回は、一部ですがご紹介します。6年生のはくざんっ子学習では、たくさんの方に仕事についての話をお聞きし、自分たちの生き方について考えることができました。4年生は、国際理解で、カナダ、ブラジル、インドなどいろいろな国の文化や生活の違いを知り興味を持つことができました。子どもたちは、サポーターさんから興味深いお話を聞くことで、視野が広がり、さらに詳しく知りたいと思うようになりました。



にこにこ生活部会

横断中



見守り隊

見守り隊の皆さんは、子どもたちが安全に登校できるように毎朝早くから、見守ってくれています。横断歩道を渡る時も、車に十分注意して渡れるように車を停めて誘導してくれています。見守り隊の皆さんのおかげで子どもたちは、笑顔で安心して学校に通学することができます。

